

2005年6月1日(水)

東海の古代

第 63号 編集・発行 古田史学の会・東海

代表 林 俊彦 〒461-0025 名古屋市東区徳川1-729

メール frttokai@zm.commuja.jp

電話/FAX 052(936)5012

郵便振替 00870-5-30752

またしても住所録のデータを消滅させるというミスをおかし、前号はごく一部のみにしか配布できませんでした。申し訳ありません。情報化の時代の波に着実に取り残されていることを痛感しています。

今春、私の娘が大学に入学しました。それはめでたいことなのですが、しきりに「学校へ行ってくる」という言葉を口にします。つまり高校の延長として大学をとらえているのです。「学校は子供である生徒が、大人である教師から一方的に教えられるところ。大学は先輩である教授と後輩である学生がともに学びあうところ」と説明するのですが、娘にはぴんこないようです。たしかに今の大学に期待されるのは「大卒」資格の証明だけで、自動車学校と同様に随しているのかもしれませんが。

問題は母親（つまり私の家内）までもが、「そんな考え方、知らなかった」というのです。ちょっと待て、君と僕とはあんなにも学生時代、「大学の自治とは、学問の自由とは」と語り合った仲ではないか。あの熱き想いはどこへ消えた？昭和は遠くなりにつれ、でしょうか。

佐賀県周遊成果大

今年も5月の連休を利用し、九州へ行きました。参加者4名、5月3日(火)～5日(木)の3日間、佐賀県のほぼ全域をドライブしました。

風土記にも登場する永世神社を始めに、姫古曾

神社、荒穂神社、千栗八幡宮などの諸神社、帯隈山やおつぼ山の神籠石、九州王朝のハイウエイ？堤土塁などの史跡と見てまわりました。

痛感したのは、武雄神社とか著名な場所はともかく田舎の小さな史跡を訪れるときは詳細な現地地図を事前に必要とする、ということです。古代史という特殊な趣味では、カーナビは意外と頼りになりませんでした。このあたりのはず、と車を走らせながら、結局見つけられなかった史跡もいくつかありました。それでも現地見学ならではの豊富な収穫もありました。

五体の神像実見

まったくの予定外だったのですが、瀬戸の林さんの奮闘により、新築されたばかりの「こうやの宮」(以前と同じ場所)にたどり着き、さらに地元の方々の特別なご好意で、あの五体の神像をじっくり拝観し、説明を受けることができました(原則としては必ず事前に瀬高町教育委員会に申し込んでください)。夕日に照らされる神像はとても美しく感じられました。

次号以降で個別の史跡に触れる予定です。

高田かつ子さん逝く

古くからの古田先生の支持者で、「多元的古代」研究会・関東の会長として永く活躍してこられた高田かつ子さんは、久しく入院療養中とのことでしたが、5月7日早朝逝去されました。ご冥福をお祈りします。

古田先生は急遽5月20日に東京で追悼講演会を行われたそうです。演題は「中国亡命 日本国号 井真成墓誌の真相」です。6月例会で出席者から内容を知ることができるかもしれませんが。

6月例会に参加を

日程：6月5日(日)午後1時～4時半

場所：名古屋市公会堂第2集会室(2階)

参加費：500円(維持会員は無料)

今後の予定

7月例会：7月10日(日)

8月例会：恒例、盆休み

例会は原則として毎月第2日曜日ですが、会場

の都合等により変則的になる場合があります。日程をよく確認しお出かけください。参加費は五百円(維持会員は無料)。古田先生とその学問に興味のある方ならどなたの参加も歓迎します。

なお昨年8月は滋賀県に史跡見学をしました。今年も何かできたら、と思います。

古田史学の会講演会

日程：6月12日(日)午後1時～4時

場所：大阪市立総合生涯学習センター

大阪駅前第二ビル

5階第2研修室

(JR大阪駅中央出口南5分、JR北新地駅すぐ)

報告：

①和田家文書に使用された美濃紙の追跡調査

竹内 強(岐阜市)

②明治時代の「九州王朝」説

富川 ケイ子(相模原市)

③『古事記』序文の壬申大乱

古賀 達也(京都市)

参加費：500円

竹内さんはわが東海の会の常連で、和田家文書に使用された美濃紙の製造元を現地調査し、戦後の偽作など到底困難であることを発表されます。他の会員の報告も必聴です。ぜひご参加ください。

なお講演会終了後、古田史学の会会員総会が開催されます。

新刊紹介

古田史学論集第八集

「古代に真実を求めて」

明石書店発行、2200円+税。例によって全国の古田史学の会会員諸氏の意欲的な論文等が満載です。また古田先生の講演記録「『磐井の乱』はなかった——ロシア調査旅行報告と共に」、
「原初的宗教の資料批判——トマス福音書と大乘仏教」2本と、「伊勢神宮の成立——ウェリンツカヤ エリエナ教授の求めに応じ

て」の1本も掲載されています。

「新・古代学第8集」

新泉社刊、2000円+税。古田先生を支持する全国諸団体の共同出版で、各団体会員による論考・エッセイ集です。古田先生の書き下ろし論考「村岡学批判——日本思想史学の前進のために」、「浅見光彦氏への“レター”の2本と講演記録「新しい探求の出発——『磐井の乱』・バイブルをめぐる(要約)」も掲載されています。この8集をもって「新・古代学」シリーズは終刊となります。新たな構想による再出版が予定されています。

古書即売会

第50回倉庫会

古書即売会

最近の名古屋古書会館の古書即売会は、下記のように開催されます。

期間：6月3日(金)～5日(日)

時間帯：午前10時～午後6時(最終日は5時迄)

会場：名古屋古書会館

名古屋市中区千代田五丁目1番12号

TEL(052)241-6232 FAX(052)252-0992

(電話・ファックスは会期中のみ)